

# 美しい多摩川フォーラム・第1回運営委員会議事録

日 時 : 平成24年11月7日(水)15:00~16:30

会 場 : 立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者 : 会 長 細野 助博 中央大学大学院公共政策研究科教授  
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授  
副会長 平野 啓子 語り部、大阪芸術大学教授  
副会長 青木 孝夫 青梅信用金庫 専務理事(代理)  
委 員 小平 房代 東京都産業労働局 観光まちづくり担当課長  
福泉 謙司 青梅市 建設部 計画調整担当 主幹  
桃井 浩 日野市 環境共生部 緑と清流課 課長  
伊藤 晴司郎 大田区 都市基盤整備部 参事  
酒井 かおる 東日本旅客鉄道(株) 営業部 販売促進課 観光開発グループ 副課長  
小林 誠 東京急行電鉄株式会社 都市開発事業本部 ビル事業部  
二子玉川ライズ推進部  
馬淵 広三郎 (公財)とうきゅう環境財団 常務理事・事務局長  
渡邊 勇 おうめ水辺の楽校運営協議会 会長  
下重 喜代 (有)ネイチャー&カルチャー代表取締役  
山崎 充哲 ガサガサ水辺の移動水族館 館長  
住谷 規明 日本たばこ産業(株) 立川支店 業務部 課長  
北田 真咲 (社)大多摩観光連盟 事務局次長  
宮坂 不二生 青梅信用金庫 特別アドバイザー  
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド

(敬称略、以下同様)

配布資料 : (資料 1)多摩川夢の桜街道:桜の札所巡り事業

(資料 2)東北・夢の桜街道:桜の札所巡り事業 第1回“美しき桜心の物語”の語り会

(資料 3)多摩川“水”大学講座

(資料 4)東急百貨店「ココエコチャリティー」実施

(資料 5)第40回・調布市環境フェア出展

(資料 6)第5回・多摩川一斉水質調査実施

(資料 7)平成24年度「食と地域の交流促進対策事業」第1回・実行委員会

(資料 8)第1回・美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の下刈りイベント開催

(資料 9)多摩川っ子(第5号)

(資料 10)第22回・狛江古代カップ・多摩川いかだレース参加

(資料 11)第5回・子どもカヤック体験教室開催

(資料 12)「東北・夢の桜街道推進協議会」平成24年度総会開催

(資料 13)多摩川1万人の清掃大会参加

(資料 14)第4回・炭焼き体験と水辺の交流会開催

(資料 15)第5回・美しい多摩川フォトコンテストの募集開始

(資料 16)第5回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催

(資料 17)美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展 in 福生

(資料 18)第4回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催

(資料 19) 第5回・多摩川子ども環境シンポジウム開催

(資料 20) 当フォーラムの今後の方向性等について

(資料 21) 講師派遣紹介システムについて

## 1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成24年度・第1回運営委員会を始めさせていただきます。本日は、特に議案はございませんが、上期活動報告のほか、当フォーラム設立5周年を経過し、改めて『今後の当フォーラムの方向性等』について、皆様から忌憚のないご意見をお伺いしたいと存じます。その他の意見交換のテーマとしては、グリーン・ツーリズムの促進について、講師派遣紹介システムについて、意見交換をお願いしたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。はじめに、今回、人事異動等により、初めてご出席される方もいらっしゃいますので、ご紹介させていただきます。

(東京都産業労働局 観光部 観光まちづくり担当課長 小平 房代 様)

小平と申します。本日は、観光部長の十河が公務で出席することができないため、代理で出席させていただきました。私ども東京都では、観光振興は、行政・民間事業者・住民が連携して推進していくものだと考えています。美しい多摩川フォーラムでは、多摩川流域の周辺住民や団体が参画をし、協働で地域づくりを推進しており、素晴らしい取り組みだと思っています。私ども観光部としても、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(青梅市 建設部 計画調整担当 主幹 福泉 謙司 様)

福泉と申します。本日は、市長が公務で出席することができないため、代理で出席させていただきました。フォーラムでは、「経済」「環境」「教育文化」という幅広い活動をされていて、その評価も高いと認識しています。今日は有意義な会議になると期待していますので、よろしく願いいたします。

(日野市 環境共生部 緑と清流課 課長 桃井 浩 様)

桃井と申します。日野市には浅川が流れておりますが、先日、八王子市との連携事業として、上流域の八王子と下流域の日野市双方で子どもたちの交流を行いました。また、写真コンクールも行い、浅川の魅力を発信しております。多摩川についても、今後勉強していきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

(大田区 都市基盤整備部 参事 伊藤 晴司郎 様)

伊藤と申します。本日は区長が所用で参加できないため、私が代理で出席しております。

大田区は多摩川の最下流に位置しており、多摩川は貴重な都市資産であると認識しております。区長の方針として、羽田の国際化・地域力の向上を大きな柱としておりますが、中でも国際化は、多摩川が大きな役割を果たすと考えております。私ども都市基盤整備部は、公園やグランドなどのハード系を整備しており、このフォーラムには、部をあげてサポートさせていただく意味でも、毎回管理職が次々と会議に出席をさせていただいております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 営業部販売促進課

観光開発グループ 副課長 酒井 かおる様)

酒井と申します。私自身、会議等に出席するようになってまだ日が浅いのですが、フォーラムの活動では、「駅からハイキング」で大変お世話になっております。引き続きウォーキングイベントをはじめ、多摩川を中心としたエリアの情報発信を頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(日本たばこ産業株式会社 立川支店 業務部課長 住谷 規明 様)

住谷と申します。本来なら支店長の田村が出席する予定でしたが、所用のため、私が代理で出席させていただきました。なにぶん初めてですので、しっかり勉強して帰りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 細野会長挨拶

平成24年度・第1回の運営委員会でございます。お忙しい中ご出席いただき、有り難うございます。当フォーラムが設立されて5周年を迎えた最初の運営委員会ということで、節目となりますが、今後の当フォーラムの方向性をどう位置付けたら良いのかにつきまして、皆さんからの忌憚のない意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

## 3. 経過報告

(事務局)

今年度上期の活動報告につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。それでは、その中から特に(1)番、(2)番、(7)番、(9)番、(12)番、(17)番の6つの活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

ここまでで、何かご質問はございますか。経過報告を続けます。

(2) 東北・夢の桜街道:桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)※【資料2】

第1回“美しき桜心の物語”の語り会(4/21:三春滝桜～語り部・平野啓子副会長)

【資料1】、【資料2】をご覧ください。今年も、平野副会長には、夢の桜街道の“顔”として、ボランティアでご出演いただきました。平野副会長に一言、お願いいたします。

(平野副会長)

フォーラムの事業については、今回も、花が良く咲いている中で「語り会」を開催することができました。会場となった妙法寺の境内では桜餅が売られていましたが、イベント当日はあっという間に完売したそうです。この「語り会」は、毎年毎年お客様が増えており、この日も一番前の席からぎっしりと集まってくださいました。演出上、どうしても会場の背景の壁などに制約があるものの、「語り」というのは、どんな環境下でも「声」で聞かせるというのが基本ですので、お客様には楽しんでいただけたのではないかと思います。今後も、お客様を増やしていければと思います。また、この活動の中で、瀬戸内寂聴先生の名作だけではなく、地元の話を加えたり、桜への愛がひいては多摩川の美しさや流域の活性化に繋がるよう、「語り」の内容をさらに練り込みたいと思っています。

この「語り会」が、旅行商品として組み入れてもらえたらいいのではないかと思います。私はフォーラムの中で、ボランティアで「語り」を行っているので、イベントものを入れた旅行商品としては、相当安くできるのではないかと考えています。今日は JR 東日本の方もいらっしゃっていますので、今後視野に入れていただければと思います。多摩川だけではなく東北からも来ていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(3) 多摩川“水”大学講座(5/18、6/8、7/20、9/21、10/19)【資料3】

【資料3】をご覧ください。これは、今年度唯一の新規事業で、調布市との共催のもと、5月18日に開講し、順調に進んでおります。講師には、小倉副会長をお迎えし、講座を通じて「水環境のリーダー」の養成を目指します。小倉副会長、一言お願いします。

(小倉副会長)

本講座では、水の重要さ、水循環、水資源、水質汚染等、水に関する知識を総合的に知ることによって、身近な水環境、さらに地球環境を考えて保全することを皆で考えていきたいと思っています。内容の概要は資料の裏面をご覧ください。出席された方は、初回は18名で、10月に開催された5回目は10名となっています。この講座は11月で終了しますが、修了された方には水環境に関するリーダーとなって各地で活動されることを期待しています。

(7) 第5回・多摩川一斉水質調査実施(6/3)※【資料6】

【資料6】のうち、最後のA3版のカラー両面印刷の資料をご覧ください。6月3日に実

施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が出来上がりました。小倉副会長、一言お願いします。

(小倉副会長)

この速報値は75地点ですが、多摩川流域全体としては400地点となっています。0～3mg/L のきれいな水質地点は、全体の56.5%と、大変良好な結果となっています。全国調査(9回目)は、5,559地点で実施され、現在まとめているところです。この調査を継続することによって、川の姿が見えてきて、対策を考えるきっかけとなるので、今後も継続していきたいと思っています。

(事務局)

事務局のほうで不手際がございました。本日、出来上がったばかりの確報値をお配りしたつもりでしたが、ミスにより入っていなかったようです。大変失礼いたしました。これについては、後日郵送させていただきます。ホームページ上では、すでに確報値を掲載しております。

(14) 東急百貨店より第3回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(7/24)【資料4】

【資料4】をご覧ください。平成24年7月24日、株式会社東急百貨店本社にて、今年度も、東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部275,834円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されましたので、ご報告いたします。

(15) 「東北・夢の桜街道推進協議会」平成24年度総会開催(7/25)【資料12】

【資料12】をご覧ください。平成24年7月25日、平成24年度総会が仙台市で開催され、当フォーラムより同協議会への拠出金について、平成24年度170万円が承認されました。また、今年度につきましても、国土交通省の「官民連携主体による地域づくり推進事業」に選定され、委託調査事業(予算規模:650万円)を受託しましたので、ご参考までご報告いたします。

主な事業としては、①宮城県の鹽竈神社における“美しき桜心の物語”の語り会、②東北復興支援シンポジウム、③東北観光物産展&夢の桜街道パネル展、④桜の札所の看板と記念スタンプの設置、スタンプラリー帳の発行を含むしんきん桜守事業、⑤全国の信金業界における夢の桜街道ポスターの店頭掲示のほか、⑥JR東日本をはじめとする公共交通機関やJTBなど旅行会社による「東北・夢の桜街道」の旅行商品の開発・PRが予定されています。なお、PRに当たっては、全社共通の統一ロゴマークを使用することになっており、JR東日本が当協議会のために制作したロゴマークを無償でご提供いただいております。

(21) 第5回・たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK開催(10/13)【資料 16】

【資料 16】をご覧ください。これは、昨年の寄付金贈呈の様式です。10月13日に第5回のイベントが開催され、当フォーラム事務局からの参加も含めて、約50人が参加しました。なお、集められた募金は11月19日(月)、大田区長室において、寄付金として贈呈される予定です。有り難うございました。

(24) 第4回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11月)【資料 18】

【資料 18】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、11月をクリーンキャンペーン月間と定め、広域連携による多摩川流域の清掃活動を開催しております。今年は新たに立川市様に加わり、15団体が参加されることになりました。

(25) 第5回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/8)【資料 19】

【資料 19】をご覧ください。今年も12月8日に、第5回・多摩川子ども環境シンポジウムを開催いたします。現在、8団体が内定しており、ほかに参加予定の各団体と調整中です。

(27) 「食と地域の交流促進対策事業」～第3回・食と文化の交流イベント開催(1/29)

これは、平成24年度農林水産省関東農政局交付金事業の最終事業に当たります。後ほど、意見交換の(2)のグリーン・ツーリズムのところで、ご説明させていただきたいと思っております。

以上で、経過報告を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、何かご質問、ご意見などございますか。

(山崎教育文化副部会長)

浅川は多摩川にとって大事な水の供給源ですので、八王子市さん、日野市さんとも多摩川で連携してやっていければと思います。今回の水質調査ですが、浅川が入っていませんので、ぜひ参加していただきたいと思っております。私ども下流の人間から申し上げますが、先ほどビデオの中で「下流は水が汚い」とありましたが、それは上流のきれいな水を下流に流してくれないからです。羽村の取水堰で水を取られてしまうので、下流に流れる水はほとんどが下水処理水です。しかし、下水処理水でありながら、あれだけ鮎がたくさん遡ってきていますので、「汚い」というよりは、「栄養塩類が豊かである」とご理解いただきたいと思っております。

(事務局)

今の件ですが、事務局の手落ちで確報ベースが資料に含まれておりませんが、確報ベースには浅川は含まれています。

(細野会長)

今の件について、小倉先生からコメントいただきたいと思います。

(小倉副会長)

多摩川では400地点で調査を行っています。浅川でもかなりの地点で調査を行っています。下流の話が出ましたが、下流では処理水の割合が多くなるため、見かけ上は値が高くなっていますが、水量も増えて浄化作用を受け、逆にきれいになっていくというプロセスも多摩川には見られますので、これから期待したいと思います。

(細野会長)

有り難うございました。ほかに何かありますか。ないようでしたら、次の意見交換に移ります。事務局から説明をお願いします。

#### 4. 意見交換

(1) 当フォーラムの今後の方向性等について【資料 20】

(事務局)

【資料20】をご覧ください。議論の前提として、資料を作成しました。「美しい多摩川100年プランの年度別実施状況」として、主な活動について「経済」「環境」「教育文化」を時系列に分けて掲載しています。設立初年度である19年度は「基本構想」段階、20年度は「トライアル事業」段階、21年度は「基盤事業策定」段階、22年度以降は「安定稼働」段階と位置付けています。今年度は「安定稼働」段階の3年目となっています。

今年度を詳しく見ると、「経済」では、①夢の桜街道・桜の札所巡り事業が大きな拡がりを持ってきていることが分かると思います。②多摩川フォトコン・スケッチ画展も定着してきました。③食と地域の交流促進対策事業(グリーン・ツーリズム)は、2ヵ年限定の事業です。農林水産省関東農政局からの交付金事業となります。④東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業は、今後10年間フォーラムから東北・夢の桜街道推進協議会に拠出する形で事業を展開していく予定です。

続いて「環境」では、①多摩川“水”大学講座が新規案件です。②多摩川一斉水質調査は第5回目を迎え、すっかり定着しました。③美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の下刈りイベントは、昨年度にフォーラムの森を開設し、今後、こういった形で環境保全活動を実施していきたいと思います。④多摩川一万人清掃大会、⑤京王クリーンキャンペーン、および⑥美しい多摩川クリーンキャンペーンは、多摩川河川の清掃活動で、こち

らも定着してまいりました。

「教育文化」ですが、①多摩川いかだレースは、先ほどビデオでご覧いただきましたが、毎年「美しい多摩川フォーラム号」の参加で定着しています。②子どもカヤック体験教室と④炭焼き体験と水辺の交流会は、人気の高い夏の親子のイベントになります。③多摩川っ子は、毎年7月発行で今年は第5号となり、各行政の窓口、教育機関、多摩川流域の小中学校に配布しております。この多摩川っ子を見て、炭焼き体験等に申し込まれる方もいます。⑤多摩川子ども環境シンポジウムですが、今年で第5回目となり、定着しています。⑥桜守学校は、平成25年3月にスタートする事業です。詳しい日程は調整中です。過去5年間の事業を振り返り、今後の方向性についてご意見をいただければと思います。運営委員の下重様、何かご意見があればお願いいたします。

(下重運営委員)

5年間でこれだけ発展するとは、当初は想像できませんでした。時代のニーズがあり、社会貢献したいという市民が沢山いらっしゃるということと、団塊の世代がリタイアし、市民運動に参加して来る流れもあり、今後ますます大きな事業に展開していくのではないかと思います。若い人たちをどうやって引き込むかを今後考えていく必要があると思います。子どもたちを対象としたイベントは、参加者が少なくても今後とても期待が持てると思います。子どもたちの育成に力を入れていただければと思います。

(事務局)

有り難うございました。お隣の山崎運営委員、指名で恐縮ですが、何かご意見がありましたらお願いいたします。

(山崎運営委員)

このフォーラムには、1,000人を超える会員がいます。その会員に、我々参加しているメンバーが、今やっていることを知らせながら、いただいた会費1,000円分をどうやって還元していくかを考えるシステムを進めていっても良いのではないかと思います。どういうニーズがあるのか、非常に分かりづらいとは思いますが、なんらかの形で、せつかく皆さんが想いをひとつにして企業、行政、団体等が集まっているのですから、どんどん意見を出しながら、会員や会員の子もたちが一緒になって参加できるシステムを考える事ができればと思います。

(事務局)

有り難うございました。それではもうひとつ、渡邊運営委員、ご意見がありましたらお願いいたします。



(渡邊運営委員)

「多摩川夢の桜街道」は大変素晴らしい事業だと思います。その他にも、来年多摩地区で国体がありますから、カヤックを大々的に開催し、都心から人を呼ぶきっかけにしたらどうかと思います。フォーラムで「大人のためのカヤック体験教室」をやったら人が集まったということですので、将来の方向として、開催していけたら良いと思います。

もうひとつですが、私は水質や環境を専門にしていますが、水質調査も5年間続けてきましたので、実際に参加されている方に、今までの経過と問題点、また、今後どのようにしていったら良いのかを、皆さんで話し合う場を設けたらどうかと思います。教育文化についても、色々な素晴らしい行事があるので、今後も継続し、充実させていければ良いと思います。

(事務局)

有り難うございました。ただいま、事務局から3名をご指名して、この5年間の評価とそれを受けてのご意見をいただきましたが、当フォーラムの今後の方向性につきまして、引き続きご意見をお願いいたします。……特にないようでしたら、こちらから指名させていただきます。

(細野会長)

フォーラムは6年目に入っておりますが、多摩はそんなに輝いている地域なのかというと、そうは言えない感じです。人口は減る方向に行くでしょうし、高齢化のスピードも23区に比べると速いです。我々は、多摩の魅力づくりのため、多摩川流域をフォーカスポイントにして色々やってきていますが、効果が出ているかということ、それほどではないかもしれません。多世代が力を合わせて魅力づくりをし、首都圏だけではなく、色々な所から注目されるためにはどうしたら良いのでしょうか。少し抜本的なことも考えていかなければなりません。東北の事業は、今後10年間支援していきますが、我々フォーラム自身も頑張らなければなりません。今までの事業を継続するのも大事かもしれませんし、改めて評価し直し、新しいやり方や新しいコンテンツを出さなければいけない時期に来ているのかもしれません。今日はあえて、今後の方向性というテーマを出させていただきました。当初からご活躍くださっている方もいらっしゃいますし、新たなメンバーもいらっしゃっています。忌憚のない意見ををお願いします。

(平野副会長)

先ほど私の発言で、東北のことに触れていませんでしたので、ここでコメントさせていただきます。当日は、桜が3輪しか咲いていない本当に寒い中、細野会長をはじめ、篠塚名誉会長や森田副会長など、沢山のフォーラム役員の方に三春に来ていただきました。特に細野会長は風邪を引かれて大変なご体調の中、客席でお聞きいただき有り難うござい

ました。200席のうち100人は地元の方でしたが、残りの100人は東京、埼玉など各地からお越しいただきました。イベントは夜の公演ですから、恐らく宿泊していただき、現地で食べて飲んでお土産を買っていただいたと思います。イベント当日、三春町の宿は全て満室となっており、私も宿を探すのに苦労しました。今後も、ひとりひとりに多少でもお金を落としてもらえる観光に目を向けていきたいと思います。観光と言うと、支援という雰囲気がないのですが、観光という要素を多分に含んだ会を来年も設けて、復興に繋げていければと思います。ちなみに三春の様子をご覧になった方かどうか分かりませんが、どこからか話が伝わり、宮城県の鹽竈神社から直接事務局に連絡があり、「ぜひ来年は鹽竈神社でやってください。」とお話があったそうです。内容は、「三春と同じものにしてほしい。」とのことでした。「神社だから古事記ではなくて良いのですか。」と聞いたら、「瀬戸内寂聴の“しだれ桜”と、地元で枯れかかって生き残っている鹽竈桜のお話を組み立ててやってほしい。」とのことでした。せっかくなので、松尾芭蕉がかつて「奥の細道」で鹽竈神社のことを書いているので、それも組み込んでみたいと思っています。この鹽竈神社でやるという話が、各地の神社に伝わり、防府天満宮からも連絡が入っています。来週、塩竈に取材に行きます。この間、三島大社に行ったら、「瀬戸内寂聴の“しだれ桜”は、意味深な話だそうですね。」と言われ、期待されているようでした。ただ、“意味深な話”で終わらせてはいけないので、それがどうして復興に繋がるのかを結び付けて、語っていききたいと思います。

この間、東北・夢の桜街道推進協議会の総会に参加したところ、JR東日本さんや全日空さん、日本航空さんやクラブツーリズムさんなど、あらゆる団体が入っているので、「東北・夢の桜街道」はどんどん膨らんでいくと思います。そんな中で、今後、多摩川フォーラムの事業と、東北の事業の両方をやっていく上で、マンパワーを含めてどのように運営していけば良いのか、真剣に考えなければならないと思います。ちなみに、三春のイベントの時には、すぐ隣でNHKが中継をしていました。生中継だからスタッフは多いでしょうが、100人近いスタッフが、1役に1人という形で動いていました。一方、フォーラムのスタッフは、本当に少ない人数で、1人が何役もこなし、席に着いてホッとできる暇もなく、ひとつ役目が終わると次の役に取り掛かるといった状況であるにも関わらず、全く事故もなく完璧にできたのは、フォーラム事務局の凄さであると同時に、奇跡だと思ったほうが良いと思います。これが当たり前だと思ったら、必ずいつかまずいことが起きると思います。多摩川の事業でもそんなことが起きているのではないかと心配です。そういったことを真剣に考えたほうが良いのではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。今のご意見に関して、事務局から何かありますか。

(事務局)

大変貴重なご意見を有り難うございました。こちらからご指名させていただいてもよろしいですか。本日も出席されている東京都さんも、東北・夢の桜街道推進協議会をはじめ、連携をさせていただき、ご支援をいただいておりますので、ご意見をいただければと思います。

(小平様)

先ほど平野副会長からお話がありましたが、我々東京都として、観光街づくりのために地域と関わる際、ある特定の方が熱い想いを持ち、色々な取り組みを一人何役もこなしてやっています。その運動を、もう少し地域の住民の方に多く広めて、住民の方が積極的に関わられるような波を起こすことが大切だと思っています。先ほど、沢山の会員さんがいらっしやるということでしたので、会員として名を連ねるだけでなく、関わっていけるような親近感で上手くきっかけをつかめると良いのではないのでしょうか。

(事務局)

有り難うございます。今、会員数の話がありましたが、現在1,490名を越えました。昨年度末は1,125名でしたので、4月以降、大幅に会員が増えている状況です。

(細野会長)

それだけ増えたのですよね。各地域でどれだけの会員がいるのか、分かるのでしょうか。東京都の小平さんの話では、会員の人たちが自主的にやるためのシステムが作れたら良いとのこと。各地域の会員数を把握し、その地域で活動してもらい、我々のところに報告してもらえそうなシステムができると良いと思いますが、事務局、そのあたりはどうなのですか。

(事務局)

エリア別の会員数ですが、7割が西多摩地区で、その他が3割となっています。詳細は、調べれば分かります。会長のご提案については、残念ながら、事務局でそこまで出来ていないのが現状ですが、今後前向きに検討していきたいと思います。

(馬淵運営委員)

我々財団も、財団だより「多摩川」や副読本「多摩川へ行こう」等で多摩川の啓発普及に努めております。学習副読本については、今まで多摩川流域の小学校だけを対象にしていましたが、神奈川や東京全区域の学校に配布の希望を確認するようにしました。すると、以前より配布部数が3～4割増えたのです。多摩川流域以外にも美しい多摩川フォーラムのことを知ってもらう機会を設けたらどうかと思います。

多摩川は東京の玄関口ではありますが、日本で代表的な川を、海外の人たちを含めてどれだけの人が知っているでしょうか。ニューヨークやパリなどは、代表的な川がすぐに思いつくのですが、東京だと、多摩川なのか、隅田川なのか、利根川なのか、はっきりしません。私は、プライベートを含めて多摩川を散策するのですが、あまり外国の方を見かけません。東京には、わずか1～2時間で東京ではない雰囲気味わうことが出来るので、観光エリアとしての知名度を上げていく工夫が必要ではないかと思います。

(細野会長)

ポイントが2つあったと思います。ひとつは、小学生から親御さんも含め、どんな形で自主的な活動ができるか、あるいは私たちが準備しているものに参加してくれるかということを考える必要があります。そしてもうひとつは、国際化です。大田区さんは羽田空港の国際化を視野に置いています、それを多摩川の源流まで持って来る工夫が必要です。「多摩川夢の桜街道」もひとつの手かもしれません。そうするには、ホームページの英文化や中文化も必要かもしれません。この件について大田区さん、どのようにお考えですか。

(大田区 伊藤様)

多摩川と国際化との結びつきというのは、なかなか解明できていない部分がございます。大田区にとって羽田空港は、貴重な資産・資源であり、それをどのように使うのかというところから、国際化という大きな流れになってきていると思います。区長のイメージがはっきり理解できていない部分もあるのですが、大田区は三方を水に囲まれていますので、そういうイメージではないかなと思います。大田区の課題として、多摩川沿線の方は良いのですが、内陸の方にとっては多摩川・水に関する意識が希薄になっています。行政としても、内陸の方と水との接点を作っていくのが課題です。

(細野会長)

有り難うございました。他にいかがでしょうか。

(山崎運営委員)

羽田空港の国際化に関しまして、「羽田空港に多摩川水族館を作ろう」と、4～5年前に空港公団に交渉しましたが、一蹴に付されました。しかし、可能性はあると思います。今年も、糀谷小学校や田園調布小学校などの子どもたちに「ふれあい移動水族館」を体験させました。子どもたちは、多摩川で何が出来るのか、すごく興味を持っています。とうきゅう環境財団の「多摩川へいこう」という冊子も、教科書代わりに利用したり、小学校で配布したりしています。先日の川崎市民祭でも配布しました。ブースには10万人が訪れたので、全員には配れませんでした、興味を持ってくれた子に渡しました。そういった子どもたち

が、一歩進んで子ども環境シンポジウムに参加してくれるなど、子どもたちを育てていく手段を作っていくながら、順番に回る仕組みを考えていかなければなりません。大人が自己満足でやっているだけでは続かないと思います。大田区さん、本当に「多摩川水族館」を作いませんか。我々はいくらでも力になります。でもこうやって、フォーラムを通じて皆が協力し合えることは良いことです。おうめ水辺の楽校もそうです。八王子や稲城の水辺の楽校も、立ち上げ時は私が出向いて子どもたちを遊ばせました。そうやって、流域が一本にまとまっていったら、このフォーラムという組織はものすごい力を持つことになると思います。何かやってくれるのを待つだけではなく、自分から仕掛けるようにしていきたいと思います。

(下重運営委員)

山崎さんのような積極的な人は稀だと思います。1,500人の会員の声をもっと拾い上げ、会費を納入する時に簡単なアンケートを取り、「多摩川のために何が出来るのか」「どんな活動をしたいか」「どういう川にしたいか」などを聞いたらどうですか。10年後、どういふフォーラム像にしていったらいいか、会員の声を聞くことが大事だと思います。いつも気になっているけれども言いにくかったのですが、ビデオレターは分かりやすいのですが、前面に出てくるのは事務局サイドの人が多いいいことです。一般の会員の方が活動に参加するような仕掛けを作ったら良いと思います。それが一番難しいことなのですが、よろしくお願いします。

(事務局)

貴重なご意見をいただき、有り難うございました。運営委員会でこのような意見を伺う時間を設けさせていただきましたが、部会でもこのような機会を設け、会員の声を少しでも多く吸い上げて、今後の活動に活かしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(細野会長)

また継続して議論していく必要があると思います。では次に行きましょう。事務局から説明してください。

(2) グリーン・ツーリズムの促進について【資料7】

【資料7】をご覧ください。この事業に関連し、今年度開催されたものは以下の通りです。

- 平成24年6月15日(金) 第1回実行委員会(立川グランドホテル)
- 平成24年7月7日(土) 第2回食と文化の交流イベント(仙台市、おりぎの森)
- 平成24年9月10日(月) 第2回実行委員会(立川グランドホテル)
- 平成24年9月17日(月) 大人のためのカヤック体験教室(多摩川・釜の淵河原)

上記のイベントを踏まえ、今後、集大成として開催予定のイベントは以下の通りです。

●平成25年1月29日(火) 第3回食と文化の交流イベント(立川グランドホテル)

これにつきまして、平野副会長よりご説明をお願いいたします。

(平野副会長)

まだ制作段階のため、報告しづらいところもありますが、弁当に関しては、カヤック体験教室でお披露目をして、そこで得たアンケート結果を元に、更に内容を充実させていると期待をしています。語りについては、作り上げて披露するところではしか見せられないので、途中の状況を説明するのが難しいのですが、お弟子さんたちが個々に頑張っており、最後に“どういうルートを通してこういう物語に出会っているか”が分かるような、青梅、奥多摩、あきる野、3つの地域のマップ作りに入っています。マップには、拾い上げた物語が書き込まれていきます。農水省の交付金を使っているということもあり、「食」をマップのルートの中に入れ込みたいと考えています。当初、交付金自体を、こちらで連携してやりたいと思ったきっかけというのは、そこに人を呼び寄せるためのストーリー作りが前提にあり、それが農林水産省の交付金ということで、「食」が加わるのが必須条件となりました。一番の目的は、地域を活性化させるために人を呼び込むということです。どんな美味しいお弁当を作っても、そのお弁当が話題になるまでは時間がかかると思います。人を引き込むために、しっかりとストーリー作りをやっていきたいと思えます。私自身が調べて作らなくてはならない物語をひとつ残しておりますが、ほとんどは良い形で充実したものにまとまっていると思えます。この物語作りに関して、ちとべさんが積極的に語りチームに関わってくださるおかげで、色々な情報を得て、雪女に詳しいお寺の住職さんなども教えていただきました。こうやって、見えないところで情報をくださり、応援してくださる人の力は大きいなと思えました。交付金は2年間で終了しますが、語りをどこかで上演できる場づくりをしていきたいと思えます。その時、スポンサーが付いてお金が発生する場合、無料でその語りを披露して良いのか等について、ご検討をいただきたいと思えます。通常は、著作権や著作権がどこかに帰属しています。フォーラムの場合、予算の中で出来上がったものについてどう考えるのか、ご検討いただければと思えます。教育関係者から、語りをやってほしいと依頼が入り、今までもお弟子さんに出してもらいました。今回も、せつかくのチャンスですから、掘り起こした語りを披露する場を設けたいと思えます。今回は交付金を使うということで、奥多摩周辺のエリアに限られましたが、多摩川の中・下流域でも色々なストーリーを見つけ出し、「食」と絡めるのであれば、桜の札所の近くの産物を商工会議所などから推薦していただき、川の流れの中で繋ぎたいと思っています。ただ繋いでピックアップして一覧表を作るだけでは芸がありませんので、そこに歴史や文化のストーリーを加えることにより、点在しているものが一本に繋がると思えます。多摩川の中では具体的に探してみないと分かりませんが、多摩川を外れたところでは、そういった繋がり方をしているところがあります。ですので、そういう形で今後展開していきたいと思っています。予算が必要ですが、

何らかの形で稼働していける方向を探れたらと思います。

私はまだ、開発中のお弁当について、セットになったものを一度も食べたことがなく、部分的なものしか食していません。そのため、全体のバランスを把握できていないので、今度お金を払ってでも食べてみたいと思います。

(細野会長)

ただいまの説明に対し、何かありますか。ないようでしたら次にいきます。事務局から説明をお願いします。

(3) 講師派遣紹介システムについて【資料21】

(事務局)

【資料21】をご覧ください。これは6月27日に開催された第1回教育文化・環境清流合同部会において、山崎運営委員より提案があり、10月の部会で意見交換させていただきました。時間があれば山崎運営委員にご説明をお願いしたいところですが、時間がないため、10月の部会での主な意見を紹介させていただきます。当初は、「講師派遣制度」という形で、地域経済活性化部会で議論を行いましたが、「講師の選定基準をどうするのか」「講師を紹介した場合の紹介責任はどうするのか」「個人情報の問題」「事務局のマンパワー不足」などの意見が出されました。それを踏まえ、その後の教育文化・環境清流合同部会で議論を行いましたが、その際には、「制度」を「紹介システム」に変更させていただきました。

(細野会長)

良いアイデアだということは分かっているのですが、どこでもそうなのですが、個人情報や管理の問題を考えると、今の事務局のマンパワーではどうなのかなと思います。山崎運営委員、この件に関していかがでしょうか。

(山崎運営委員)

いったい誰に話をすれば、平野さんやお弟子さんに来てもらえるのかという話です。平野さんに、多摩川下流域でも語りをやってほしいと思った時、私は平野さんを知っているため、直接平野さんに交渉できますが、他の会員の方は直接平野さんと交渉できません。その際、平野さんに交渉するにはここにアクセスすれば良いという情報を掲載すれば良いのです。お金の話や責任の問題は、依頼者が負担すれば良いのです。事務局が責任を取る必要はありません。せっかくフォーラムには素晴らしい人が沢山いるのですから、そのマンパワーを使わないのはもったいないです。このマンパワーを皆に還元できるシステムを構築すべきだと思います。

(細野会長)

平野副会長はどう考えますか。

(平野副会長)

このシステムに登録するのが可能な人というのは、あくまでフォーラムの事業を具体的にやっている人と考えて良いのでしょうか。つまり、ただ会費を納めている1,490人全員が対象になるのでしょうか。

(山崎運営委員)

こういった運営委員会などで、登録希望の人を選定すれば良いのではないかと思います。味噌くそ混ぜると烏合の衆になりかねませんので、ある程度見識のある人が挙手をするか、アンケートを取るか、投票をすれば良いことで、それほど大変なことではないと思います。今、インターネットで個人の名前を打ち込めば、何でも拾えます。私の名前を打ち込めば、50万件くらいは出て来ます。平野さんの名前も沢山出て来ます。人となりは簡単に分かると思います。悪いことをしている人間は、悪いことなりのことが書かれています。

(平野副会長)

新たにシステムに登録した人が発生するたびに、会員全員に通知が行くのでしょうか。

(山崎運営委員)

お金をかけてホームページを作っていますから、会員がそこにアクセスすれば良いと思います。未だに年間・月間のホームページアクセス数を知りませんが、メディアやITを利用して、出来る人が前に進んでいくという方向が良いと思います。これはまだ構想の段階ですので、決まりを皆で練っていったら良いと思います。

(平野副会長)

間接的にではなく、直接的にフォーラムの事業のためになることが分かれば良いと思います。本当は登録したいのだけれど、別の組織や会社の関係で、出したくても出せない人がいたり、引退後、名刺を持ち合わせていないために、それを自分自身が卑下してしまって登録できない人がいたりすると、希望者だけが登録できることになり、公平が出ないのではないかと思います。また、判断をどうするかです。山崎さんの活動は目に見えて分かるので、あえてホームページに載せなくても、依頼は来ると思います。やはり安全性に疑問が残ります。ホームページを見て、相手はこちらを分かるけれど、こちらは相手を知ることができないという怖さがあります。



(山崎運営委員)

もちろん、当然のリスクだと思います。そのリスクをきちんと理解した上で、登録していただくことになります。その理解を出来ない人は登録をしてはいけないと思います。

(平野副会長)

事務局が繋ぐと言っても、いくら責任を取る必要がないとはいえ、調べきれないのでは不安があります。

(山崎運営委員)

直接連絡をいただき、お互いの人と成りを知った上で、そこから始まれば良いと思います。

(平野副会長)

日頃からフォーラムにご尽力いただいている、無償で活動している方は、ある程度顔も分かって来ていますし、安心できますが、この紹介システムを運用すると、どこかで仕事が発生する可能性があると思います。そうなると、フォーラム外の仕事が発生するために、マンパワーをどこまで使って良いのかと気になります。

(事務局)

時間が迫っています。今日は、「案」の前の「タタキ台」の「イメージ」ということで、結論付けるつもりはありませんので、今日はこれで締めさせていただきます。細野会長にマイクを戻します。

(細野会長)

難しい問題もありますが、上手く行くかもしれませんし、責任の問題等、あらゆるリスクを考えなければなりません。今後、十分に議論してまいりましょう。

## 5. 総括

(森田副会長代理:青梅信用金庫 専務 青木様)

今日は大変有り難うございました。森田副会長が所用で欠席のため、代理で出席させていただきました。日頃からフォーラムの活動にご支援いただき、今日は大変貴重なご意見をいただきました。常々活動を重ねてきた中で限界を感じているところを、運営委員の皆さんからお話いただいたものと感じています。貴重なご意見を参考にさせていただき、今後の活動に活かしていきたいと思います。

私から2点ほどご報告があります。11月1日付で、全国信用金庫協会から、全国の信用金庫宛に「東北・夢の桜街道」の後援依頼を発信しました。271金庫中、前年は116金庫の

後援をいただきましたが、今年は新たな信金さんからも賛同したい旨の連絡が入っているようです。続いて、これは青梅信用金庫からのお礼ですが、すでにご存じの通り、全国信用金庫協会では、「社会貢献賞」があり、今年で第15回を迎えますが、第1回目の時に、当金庫は、「青梅マラソンの支援」で上から4番目の賞をいただきました。今回、6月20日に、「フォーラムの活動と東北復興支援」で、1番トップの賞である「会長賞」をいただきました。こういった活動が、全国の信用金庫の中でも注目されているということですので、改めてお礼を申し上げます。今後ともぜひよろしくお願い申し上げます。

## 6. 閉 会

(細野会長)

今日は有り難うございました。第1回目の運営委員会でしたが、多々貴重なご意見をいただきました。次の10年に向け、どのような方向でやっていくのか、継続的に議論していきたいと思えますし、1,500人になろうとしている会員の顔が、我々からは見えません。どういうニーズを持っているのか、そのニーズをどのように汲み上げていくのか。先ほどアンケートの話もありましたが、総会などで会員の皆さんと直接話し合う場や、仕組み作りを考えていく必要があるかもしれません。それでは今日の運営委員会を終わります。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)